

支部協だより

第81号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101
 Fax.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

新基地建設を断つ!!

北部地区協議会会長 与那覇 誠 勝

米軍普天間基地移設問題は毎日のようにマスコミにも取り上げられ、全国をはじめ米国にも注目をあび、クローズアップされるなかで名護市市長選挙が戦われました。

私たち(退職者の会北部地区協)は北部地区労OBに積極的に参加し退職者の会沖縄県支部協、及びNTT労組沖縄総支部のご支援ご協力を得て、一所懸命に頑張ってきました。

選挙戦は沖縄県選出の国會議員先生方はじめ、本土からも多くの応援隊がかけつけて日夜取り組み、これまでにない盛り上がりでした。この選挙はただ六万人名護市民の問題ではなく、沖縄県民の民意を再度証明するものだと捉え、必死に

なつて取り組んだことが勝利を勝ち取りました。ほんとうに良かったと思つてい

ます。これは、去る衆議院選挙で証明された県民の民意が再確認され、私たちは声を大にして新基地はいらないと、日本政府及び米国に訴えていく原動力になるものです。

選挙期間中は、県支部協の黒島会長をはじめ事務局長の長嶺さんら多くの皆さん方が、幾度となく応援にかけつけてくださったことに対し深く感謝し、また北部地区協会員の皆様方にも気持ちを一併にして取り組み、会員の絆もより一層深めることができたものと高く評価し、これからの各種活動にも大きく期待されるものと思ひます。本当にありが

とうございました。

今まで名護におきましては北部振興策として769億円の国費が投入され、そのなかでも名護市には500億円が投入され名護市は潤うと大々的に宣伝されてきました。

しかし、それは箱物中心の振興策で、多くは一部の企業と本土企業に還流されているといわれていて、名護の町にはそのかけらさえ感じられません。それはなぜでしょう!

稲嶺進さんは、そういったことを打開し、自然と共生しながら地場産業を育成し発展させ、また医療福祉問題に力をいれて、十年、二十年先をみつめて、人材育成に取り組みとしていきます。私たちはそれを信じて

応援していきたいと思つています。

最後になりましたが、ご支援ご協力してくださった皆様方、本当にありがとうございました。NTT労組退職者の会北部地区幹事会を代表して御礼と感謝を申し上げます。

日米安保条約と米軍軍事基地

会長 黒島 善市

名護市長選挙、本当に有難うございました。特に北部地区協の与那覇会長はじめ幹事会そして会員・ご家族の皆様ご苦勞様でした。感謝申し上げます。

一地方の市長選でこれほど連日のように全国のマスコミで取り上げられたことは、かつてありません。これも政権交代が実現したからに他ならないでしょう。ただ、最近の政府の言動は、軽々しく感じられ、極めて残念です。しかし、最終的

には県民の想いや、日米対等の立場で解決してくれるものと思つています。

ところで、今年、一九六〇年に「日米安保条約」が締結されて50年になる。この条約、一九七〇年に自動延長されたが、その後は毎年どちらか一方の政府が破棄を通告しない限り、永遠に自動延長されるようになっており、それが現在も続いているわけだ。逆に言えば、どちらかの政府が条約の破棄を通告すれば、一年後には正式に破棄されることになる(第10条)。

また、米軍基地があるのは、第6条で、米国は陸・空・海軍が日本で施設及び区域を使用することを許される、とあるからだ。

昨年12月に県内のマスコミが、都道府県知事に対して行った調査によると、日米安保条約は極めて重要であり、かつ不可欠である。と回答している。(約3割の知事は無回答だが、これは、県民を無視しているのか、触れたくないのか解らないが)

一方で、米軍基地については、唯一、大阪府の橋本知事が、政府から話があ

ば考慮したいとあるものの、全員が拒否している。富山県石井知事は、「本県は狭隘であり全て有効活用され、自衛隊もいるので、米軍を受け入れる余裕等まったくない」と回答している。沖縄県のおかれている現状を、理解していないのか、または、理解しようとしめないのか、とさえ思う。

国土面積の〇・六に過ぎない沖縄県に、米軍施設の七四%が集中しているこの現状を、将来も続けよ、というのだろうか。逆にいえば、九九・四%の本土に二六%の米軍施設を提供して、これで十分であり、これ以上は無理とこのことだろうか。

「日米安保条約は必要だが、基地は要らない」では、あまりにも虫が良すぎるし、まったく筋が通らないことは論を俟たない。そうであるなら、この際、この不平等な日米安保条約をいったん破棄すべきと思う。そして、この条約が誰のために、何のために、抑止力とは何処の国からの抑止力なのかなど、全国民が安全保障とあまねく公平な生活が出来るよう、真剣に考えてほしいと強く訴える。

東京でデモ!!!



普天間基地はいらない・新基地建設を許さない1・30
全国集会に結集した六千余名の仲間達

「安保は必要だ」だが、自分の県に米海兵隊基地が来るのは、「いやだ」という方々が沢山います。そのような状況下で、沖縄県民の二一〇〇〇人が結集した「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」に連携して、かつ米国からの圧力をはねかえすために、「普天間基地はいらない・新基地建設を許さない1・30全国集会」が、東京の日比谷公園で開催されました。主催は、主として平和フォーラムと市民運動団体です。沖縄県側からは、平和運動センターを主軸とし、自治労、高教組、沖縄教組等の組織から約一〇〇〇名が参加しました。沖縄からの参加者

は、来賓の国会議員等と一緒に全員が壇上に招集されました。寒空の中、沖縄からの参加者を先頭に東京駅近くの公園まで、六〇〇〇名の方々が、「普天間基地は即時閉鎖せよ」「辺野古への新基地建設許さないぞ」と大声を上げてデモ行進しました。最後の隊列が着いたのは、私達より一時間後、寒さの中で待ちましたが、元気を貰いました。

敗戦後六五年、しかし自民党政権は、米国の占領下にあるのと同じように属国下の状態で、沖縄に基地を押しつけてきました。そして多くの国民が、沖縄への差別政策を容認してきました。今回の政権交代は、自立した独立国家としての外交政策を打ち出す絶好の機会です。世界一危険な普天間基地を閉鎖させ、辺野古への新基地を認めないと交渉することは、独自外交を打ち出すチャンスです。同時に、沖縄への差別政策を見直しさせます。私達は、このことを踏まえて、黒島会長の派遣と会議で上京中

の滞在を延長しての集会参加を幹事会で決めました。

海兵隊基地を我が県へ誘致したいと言わずに、普天間基地のヘリ部隊（ヘリ数十機）が海外へ移動するのは、抑止力が減少するから心配だと、物知り顔の評論家が言います。又、大手メディアも同様に記事にします。米の軍隊は、長崎の佐世保・山口の岩国・神奈川の横須賀・東京の横田・青森の三沢に各基地があります。これらの基地は、普天間基地に比べてはるかに強大な攻撃力を誇っています。普天間基地の閉鎖や海外への移転が、これらの米軍基地全体の何%相当の抑止力の減少となり、日本国家の滅亡につながるのか明らか

にされた事はありません。「抑止力の減少」という言葉が、一人歩きして、国民に不安感を与えています。抑止力の減少は、「攻撃」「防備」「兵站」「通信」のどの分野での減少数なのか、又

会員名簿の訂正について

- ①名簿一六頁の二九九番「宮城君江」さんの住所正しい住所は、「与那原町字上与那原一九七七一五」
- ②住所変更の通知がありました。名簿三五頁の六五三番の兼田憲一さんの住所「郵便番号九〇七〇〇〇〇」を、石垣市奥米里四四七三二
- ③索引欄の「五」頁の「さ」行の一番目に「細工忠郎……三五」を追加記入して下さい。

八重山地区協議会



長嶺律雄
(事務局長)

どの国からの攻撃想定に対する抑止力なのか明らかにして、国民的な議論の種（キッカケ）を出して欲しいと思います。攻撃した国を最終的に喉元深く押し入り、占領下におくのは、陸軍です。米国陸軍は、韓国から一三〇〇〇〜一五〇〇〇人が撤退する予定です。抑止力論者は、日本が危くなるからその計画は止めて欲しいと騒ぎそうだと感じています。騒がないのは、沖縄に押しつけるのは、何の痛みもないと感づかれるのはいやだからでしょうか。

石橋みちひろは挑みます



つながって、
させえあう
社会へ。

教育

すべての国民に安心と希望を！

子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が安心と希望の持てる社会保障制度をめざします

労働

すべての国民に安心と希望を！

子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が安心と希望の持てる社会保障制度をめざします

安心

労働者に豊かな労働・生活環境を！

男女の格差なく、ライフスタイルに応じて働き方を選び、生活できる環境を整備します

地方

バランスと調和のとれた日本を！

分権により地方を強く元気にし、バランスと調和のとれた日本をつくります

ICT

日本社会と経済をささえる高度なICTを！

暮らしの質の向上に資する情報通信政策で、持続的な社会・経済発展をめざします

環境

将来世代のために豊かな環境の地球を！

温暖化や環境破壊の防止を優先課題にし、美しく豊かな環境の地球をつくります

平和

アジアに、そして世界に恒久平和を！

平和外交を推進し、核兵器や大量破壊兵器の廃絶を実現しつつ、戦争も武力紛争もない世界をめざします

七つの政策目標